

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 3 月 5 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105693
法人名	医療法人 河原医院
事業所名	グループホーム ひめ椿
所在地	愛媛県松山市今在家4丁目149番地3 (電話) 089-905-1411
管理者	山口 聡美
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15
訪問調査日	平成 20 年 12 月 5 日
評価確定日	平成 21 年 3 月 9 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 11 月 10 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 10 日
ユニット数	2 ユニット
利用定員数計	18 人
職員数	14 人
常勤	14 人
非常勤	人
常勤換算	14 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	36, 000	円	その他の経費 (月額)	14, 100	円
敷 金	有 () 円 ○ 無				
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 () 円 ○ 無		有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食		円	昼食	
	夕食		円	おやつ	
	または1日当たり		1, 000	円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 11 月 10 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 81.3 歳	最低 59 歳	最高 96 歳		

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅地に立地する、2階建て2ユニットのホームである。運営法人は医療機関で、このホーム以外に3つの福祉施設を運営している。職員は明るく、利用者を人生の先輩として尊敬の念をもちながらケアにあたっている。毎月2〜3回は協力医療機関から往診があり、また全員が毎年健康診断やインフルエンザ予防接種を受けるなど、健康管理に関して十分な対策を講じている。緊急時には協力医療機関による24時間の対応が可能な体制を取っている。地域行事には積極的に参加し、ホームでの文化祭や運動会には地域住民を案内している。また、ボランティアの受け入れを行っている。ドライブや花見などに出かけ、近くの公園にはよく出かけ、日々の生活を楽しんでいる。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)

地域密着型サービスとしての認識を深めるため、従来の理念の見直しに取り組み、事業所としての役割を内容に盛り込んでいる。日中の玄関の施錠に関しては、出入りが全く確認できないなどの課題があり、従来通りの方針で安全重視のケアを継続することを申し合わせている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4)

全職員が協力して作成している。作成過程で改善点に着目し、実践に向けて話し合っている。評価の各項目についてさらに理解を深めて積極的に取り組むためにも、職員間で十分学習した上で作成することを期待したい。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6)

各方面から出席してもらい、2か月に1回開催している。出席者から出された日中の施錠に関するサービス改善の提案や、ターミナルケアに関する質問などを取り上げ、意見交換を行っている。ホームからは、行事報告、文化祭や夏祭りなどのホーム行事案内を行っている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8)

家族の来訪時には、質問や要望を職員が直接聞き取り、ていねいに対応している。今年12月には家族会を発足させる計画がある。ホーム内外の苦情相談窓口については、重要事項説明書に分かりやすく明記し、家族にも説明することが望まれる。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)

地域の夏祭りや地方祭などに参加し、またホームのバザーや運動会などの行事に参加してもらい、地域との交流を大切にしている。ボランティアの受け入れも行い、利用者と楽しい一時を過ごしている。自治会に加入して地域の一員としての役割を果たすなど、さらに地域との連携を深める取り組みを期待したい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ひめ椿

(ユニット名) さくら

記入者(管理者)

氏 名 山 口 聡 美

評価完了日 平成 20 年 11 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 居心地の良い雰囲気作りに努め、自立支援を手助けしながら向上心が持てる生活ができる様な理念をあげている。 (外部評価) 開設当初に職員全員が原案を出し合い、管理者がまとめてホーム独自の理念を作成している。その後、地域密着型サービスの役割の大切さを理念の中に取り入れ、現在の理念が完成した。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員一人ひとりがいつでも確認できる様、事務室内に掲示しており、申し送りやユニット会等で確認し、日々取り組んでいる。 (外部評価) ユニットごとのミーティング時に理念を全員で復唱し、認識をさらに深めて共有し合い、実践に活かすよう取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会を開催し、地域の人に理解を促している。また、家族にも入居時口頭や重要事項説明書等にて説明し、理解して頂いている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 隣近所の方とは笑顔と挨拶で接している。ホームや同系列の施設の行事にも声掛け、参加して頂く等、日常的に付き合いができる様、努めている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の夏祭りや秋祭りなどに参加して、入居者と一緒に地元の方々と交流を深めることができる様、努めている。 (外部評価) 夏祭り、地方祭などの地域行事に参加したり、ホームでのバザーなどの行事に参加してもらったり、高校生のボランティアを受け入れるなど、地域との交流を深めている。自治会には入会しておらず、地域の情報等を十分得られているとは言えない。	※	自治会に入会し、地域の一員として役割を果たすとともに、情報を得ながら活動の輪をさらに広げていくことを期待したい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者等の暮らしに役立つ事の話し合いは出来ていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 良いサービスが提供できる様、職員全員で話し合い、改善に取り組める様、努めている。 (外部評価) 今回の自己評価は職員全員が協力し、評価の作成過程で改善点に着目し、実践に向けて話し合っている。自己評価の評価項目のねらいについて、全職員が十分理解しているとは言えない。前回の外部評価では地域密着型サービスの理解をさらに深めることが課題となったが、改善に取り組んでいる。	※	全職員で項目の理解を深めるよう学び合い、評価のねらいを理解した上で取り組むことを期待したい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議では地域の方より出された意見や案を取り入れる事ができる様、話し合い、そこでの意見を職員に申し送ってサービスの向上に活かせる様に努めている。		
			(外部評価) 2か月に1回、利用者代表、家族代表、地域代表者、市担当者などの出席を得て開催している。ホームへの要望・質問事項等について話し合い、またホームからの行事報告、災害対策への協力依頼などを行っている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 現在、運営推進会議以外では行き来する機会を作れていない。	※	サービスの質の向上に取り組み、運営推進会議以外にも行き来できる様、努める。
			(外部評価) ホームから市担当者に対しての情報提供や話し合いの機会が多いとは言えず、連携が十分できているとは言えない。	※	サービス面で直面している状況や、今後の課題などについて共有し合う機会をホームから積極的にもつようにし、連携しながらサービスの向上につなげていくことが望まれる。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、入居者に該当する方がいない。学ぶ機会も持っていない。	※	今後の為に職員全員が研修や勉強会等にて学べる機会を持ち、該当する方が入居される際には活用できる様支援していきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待はあってはならない事で、職員一人ひとりが虐待防止に努めているが、学ぶ機会には持っていない。	※	研修や勉強会等により、職員全員が学べる機会を持っていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前の面談時や入居される際に説明を行い、利用者やご家族の意見を聞いて理解・納得して頂ける様、努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 機会を設けてはいないが、利用者より不満や意見等を直接職員に言ってお下さっているもので、それらを職員間で周知し、対応している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 家族の面会時には、生活状況等を報告している。また、健康状態の変化・外出・金銭管理・お知らせ等はその都度電話にて連絡している。また、2ヶ月に1回、ホーム便りを送付している。 (外部評価) ホーム便りを隔月で発行し、ユニットごとの行事報告等をしている。また、家族の来訪時には生活の様子や健康状態を伝え、領収書をそえて金銭出納簿の確認を得ている。必要時には電話でも重要事項を伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関には意見箱を設置している。が、ほとんどのご家族は直接職員に言ってお下さっている。面会時にお話する事により、意見、不満等を伺っている。 (外部評価) 家族は、来訪時には直接職員に要望事項、質問事項などを伝えてくれ、職員がていねいに対応している。今年12月には家族会を発足させる計画である。重要事項説明書等にホーム内外の苦情相談窓口が具体的に明記されていない。	※	重要事項説明書等にホーム内外の苦情相談窓口を分かりやすく明記し、家族にも説明しておくことが望まれる。

7

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 研修会などに参加し、同業者との交流する機会を持つようにしている。 (外部評価) 法人内事業所間で、職員同士が訪問し合って交流や情報交換を行い、相互のサービスの質の向上に活かしている。法人外の同業者との交流機会はあまりない。	※	法人外の同業者とも連携を取り、研鑽を深めてサービスの向上に役立てる取り組みが求められる。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) スタッフ会や、日常の会話をを通して意見の交換をし、ストレスの軽減に努めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員個々の事を把握し、向上心を持って働ける様、努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談や面談時に本人の訴えや気持ちを聞いて、受け止めるよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談や面談時に家族の訴えや気持ちを聞いて、受け止めるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族、職員で相談し、本人に合ったサービスを提供している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 大体家族が希望する日に入居される事が多く、本人が納得された上での入居ではない場合がある。こちらは本人が環境に慣れるまでは家族の面会や電話等協力をお願いし、早くホームでの生活に慣れて頂けるよう、努めている。 (外部評価) 入居希望者の家庭を訪問し、本人の生活の様子や健康状態などを聞き取り、ホーム内の生活に馴染めるかどうかを十分に検討し、本人と家族が納得の上で入居をしてもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 入居者一人ひとりと気軽に話し合える様な関係を築ける様努めているが、意思疎通の困難な入居者などは職員の意思を通してしまう時がある。 (外部評価) 好みや機能に応じて食後の手伝い、畑仕事、洗濯物たたみなどを共に行っている。また、レクリエーションのリード役なども務めてもらい、職員と共に過ごしながらかえ合う関係を築いている。	※	気持ちに余裕を持ち、本人の要望等をくみ取ることができる様、努力していく。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族とは利用者の状況や状態等の報告を密にし、信頼して頂ける様に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人・家族の関係を理解し、利用者一人ひとりに合った対応を心がけ、支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者の希望を受け入れながら、馴染みの人との関係が途切れない様、電話・手紙・FAXの支援をしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を理解し、良好な関係を築ける様努め、トラブルが発生した際には職員が間に入って関係の悪化を防止し、孤立しない様努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 大切にしていきたいが、難しいと思う。同系列の施設に移られた方などは面会に行き、関係を断ち切らないようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者一人ひとり、可能な限り本人本意に過ごして頂いている。また、困難な希望も把握し、困難である旨を理解して頂いている。 (外部評価) 日々の生活の中で、本人の好みや希望の把握に努めており、家族とも相談しながら、一人ひとりの生活に合わせた支援に努めている。	※	要望には出来るだけ応えたい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりのフェースシートやサマリー、日々のケース記録を読んだり、利用者や家族との会話にて情報を得、把握するよう努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 職員間の申し送りや一日の生活状況の記録などにより、職員全員が把握できるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族の面会時等に利用者・職員を交えて要望をお聞きし、作成している。 (外部評価) 新しい入居者に対しては利用者の生活の様子や健康状態を話し合い、毎日の詳細な生活記録や申し送りノートなどを参考にして、短期間（1か月）の計画を作成し、日ごと検討を加えて完成している。介護計画は家族に説明し、了承を得ている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的には困難な場合もあるが、なるべく見直しや、現状に即した新たな計画を作成する様、努めている。 (外部評価) 3か月ごとの見直しを検討し、本人及び家族の了承を得ている。状況変化に応じては家族等と相談しながら臨機応変に見直し、本人及び家族に説明している。	※	定期的に見直しができる様、努めていきたい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの日々の様子・状態を細かく記録して、介護計画の見直しに活かせる様、努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 利用者・家族の状況・要望に応じて、同系列の看護師や医師の指示を仰いだり、緊急時の対応など、柔軟な支援を心がけている (外部評価) 各人の希望にそって散歩、入浴支援、理美容支援などを行っている。また、家族の都合に合わせて、家族に代わって通院支援などを行っている。地域行事やホーム行事等には各人の機能や好みに合わせて参加してもらえるよう、柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議に参加して頂いたり、消防訓練や必要に応じて警察など、地域資源と協働しながら支援できている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じ、管理者やケアマネジャーが同系列の施設の相談員等に話をし、支援している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 利用していない。	※	今後、要望があれば利用して頂ける様、支援していきたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時に家族・利用者の希望される医療を受けて頂いている。 (外部評価) 利用者全員が毎年健康診断やインフルエンザの予防接種を受けており、月に2～3回は往診を受けられる。緊急の際には24時間体制で協力医療機関の支援が受けられる体制がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 利用者の状態に応じて河原医院への受診や往診をしているが、認知症の専門医との連携は取れていない。	※	今後、検討していきたい。
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 同系列の施設の看護師や河原医院の医師に受診・往診時相談し、必要時には対応して貰っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時や退院時、サマリーの授受や退院時に予め相談員より栄養指導や入院時の生活状況を聞いて病院関係者との連携を図っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期についてのあり方について、話し合いは行っていない。 (外部評価) 現在は看取りケアの必要な状況ではなく、今後の看取りケアの具体的な指針も定められていない。	※ ※	終末期のあり方の体制が出来ていない為、今後検討していく。 看取りケアの対策を講じる必要がない状況でも、将来的なことも考慮しながら、ホームとしての指針を家族に説明しておくことが求められる。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度になっても、グループホームで可能な限り過ごして頂き、主治医、家族との相談の下、本人がより良く暮らせる様、今後の変化に備えて検討している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者の住み替えによるダメージを防ぐ為にも、家族やケア関係者で話し合い、情報交換を行う様、努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者一人ひとりに対し、プライバシーを損ねるような対応はしていない。個人情報の取り扱いにも注意している。 (外部評価) プライバシー尊重に関しては十分心得ており、利用者を人生の先輩として、言葉かけや対応には配慮している。職員全員が個人情報保護の理解に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりが自分で決め、可能な限りは自由に過ごして頂いている。また、個々意見や希望を自由に言ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりのペースに合った支援を心がけているが、困難な場合もあり職員のペースに合わせて頂いている時もある。 (外部評価) 入浴、散歩、畑仕事などは、その日の一人ひとりの気持ちや体調に配慮しながら、柔軟に支援している。	※	重度の方が多く、どうしても時間的に制約されてしまう為、可能な限り利用者のペース・希望に合わせた支援をしていきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者本人が望む店には行けていない。月1回、理美容師の訪問があり、対応して貰っている。	※	本人が望む店の希望がある場合は、家族に連れて行って貰えるよう、働きかけていきたい。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎日は困難であるが、材料の下拵え（もやしの根きり、いりこの腸取り、昆布切り）や、行事の時におにぎりを握って頂いたり、またおやつと一緒に作って頂いたりしている。 (外部評価) 機能に応じて食後の後片付けを手伝ってもらい、介助の必要な利用者には傍らに座って、語りかけながら支援している。ホームの菜園で採れた野菜を食材に使うこともあり、食事が楽しいひと時となるよう配慮している。	※	利用者と一緒に調理をする回数を増やせる様、計画していきたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 飲み物やおやつは家族の差し入れや買い物時に好きなものを購入して頂いている。現在、喫煙・飲酒される方はいない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄のパターンを把握し、個々に合わせた排泄の支援が出来ている。紙パンツから布パンツに変える等、気持ちよく生活できる様支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴する曜日は一般浴・機械浴(週三回)と一応決めているが、その日の体調や状況に合わせて曜日をずらす等、臨機応変に対応できている。 (外部評価) 基本的には3日に1回の入浴支援を行っている。入浴を嫌がる利用者には言葉かけや対応に工夫しながら、くつろげる入浴ができるよう配慮している。機械浴の対応も可能となっている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その時の体調や状況に応じて、休息して頂いている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 外出や行事を定期的に計画し、実施して喜んで頂いている。散歩にも適宜行っているが、回数的には十分な支援は行えていない。 (外部評価) 一人ひとりの好みや性格に応じて食後の片づけ、洗濯物たたみ、掃除、畑仕事など、出番を多く提供し、居室にこもることのないよう、日々の生活の中でやりがいと喜びを感じとってもらえるよう支援している。	※	今後、楽しい日々を過ごして頂けるよう、計画していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理が出来る方には、小額だが所持されている。また、買い物等した際には使える様に支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望に添った外出は出来ていない。職員が対応できる状況や時間に外出や散歩をされている。 (外部評価) 外出計画表を作成し、極力散歩に出かける機会を多く設けている。また、花見や近くの寺院、公園などにも出かけている。	※	なるべく、ご希望に添える様、努めていきたい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族と一緒に外出されたりしているが、個別に外出の対応は出来ていない。外出時は全員参加して頂ける様、努めている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話、手紙共に、利用者の希望があれば支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも面会に来て頂ける様、時間的な制約はしていない。面会時には、挨拶や本人の状況をお話するようにし、居心地良く居て頂ける様、心がけている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は行っておらず、また身体拘束をしないケアに取り組んでいる。。	※	やむを得ず行わなければならない場合は、家族の了承を得た上で同意書を交わす様にしている。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室に鍵はない。玄関の鍵は、曜日と時間を決めて解除するよう取り組んでいたが、事故が発生した為、やむなく施錠している。(家族に説明・了承の下) (外部評価) 玄関の出入りは職員の目が届かず、利用者が万一外出した場合には安全面で不安があるため、日中も施錠している。家族には状況を説明して理解を求めている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 本人のプライバシーには常に配慮し、利用者がどこで過ごしているかを把握している。夜間は一時間毎に巡視し、それ以外にも注意が必要な方は、その都度巡視して特変が無いように努めている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態によって、注意の必要な物品について職員が管理し、必要時使用して頂いている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 利用者一人ひとりの状態に応じ、事故防止に取り組める様努めている。(見守りの強化や状態の変化の気付き等)		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時や事故の際は、応急処置のマニュアルの手順で行うようにしているが、定期的な訓練は行えていない。また、職員全員が対処できる体制ではない。	※	全職員が対応できる様、勉強会や訓練を通じて習得していきたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防訓練を定期的に行っている。災害時に備えて運営推進会議の場にて、地域の人々の協力を得られる様、働きかけている。 (外部評価) 年2回の災害訓練を実施しており、内1回は消防署の指導を受けている。職員連絡簿は事務室に備えている。運営推進会議を通じて地域の方に災害時の協力依頼を行っているが、一緒に訓練をするまでには至っていない。災害時のマニュアルは完備されていない。	※	分かりやすくより実践に即したマニュアルと職員連絡簿を作成し、それらを活かした訓練を実施することが求められる。訓練時には地域の方にも参加してもらうなど、さらに協力体制を深める取り組みも期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族の面会時には常に利用者の日々の生活の事や起こりうる心配事について報告・相談させて貰っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員は常に利用者の体調の変化に気付ける様に観察し、気付いた時には申し送り等で他職員と情報を共有して対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの服薬情報を、処方箋や薬事情報等で理解しており、服薬の支援・症状の把握に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便表を作成し、毎日排便チェックをしている。個々の排便の状況を把握でき、数日排便がない時には医師より処方されている緩下剤を服用して貰う他、センナ茶の飲用、腹部マッサージ等、個人に合った対応をしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後、利用者一人ひとりに応じた口腔ケアを行っている。(自主的に行う方、声掛けにて行う方、入れ歯洗浄剤を使用し、職員が口腔ケアを援助する方等、清潔の保持に努めている)		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量を毎回チェックしており、水分摂取量も摂取が困難な方の水分量を記入している。また、一日のうちに水分を摂取した時間等は、全員チェックしている。食事は、栄養士の立てた献立により、調理している。 (外部評価) 食事及び水分摂取量を詳細に記録し、法人の栄養士が作成した献立表をもとに調理を行い、栄養管理に努めている。食事時には声をかけながら、適切な栄養バランスや摂取量を確保できるよう支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症に関してのマニュアルを作成し、全職員が周知できるように努めている。手洗い・消毒の徹底や汚染物の処理については使い捨て手袋の使用をしている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、包丁、布巾等は漂白剤に毎晩浸けており、調理時、食材は生で食べられる物でも一度火を通すなど、食中毒の予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りや建物周辺は鉢植えを飾ったり、毎日掃除したり、長椅子を置くなどしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関や食堂には花を活けたり、季節によって壁面を変えている。直射日光を防ぐ為、カーテンにて調整している。 (外部評価) 居間、食堂、廊下は広くて明るく、ソファを備えてゆったりと寛げるよう工夫している。空調は適切に管理されており、浴室、トイレ、台所も清潔である。テレビの音量も適切であり、利用者は和やかに過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビング（兼食堂）の席の配置を考慮したり、他の場所にもソファやテーブルを設置しており、利用者が好きな時に好きな場所で利用して頂いている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者の居室は、個々それぞれに馴染みのものを置かれたり、使用したり、家族との写真を飾るなど、自由に居心地良く過ごして頂いている。 (外部評価) 居室は明るく、馴染みの筆筒、テレビなどを備え、思い出の写真なども飾り、馴染みの物品を持ち込み、自分の部屋らしく寛いで過ごせるよう工夫している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎朝全部の窓を開けて換気を行い、またその日の気温や利用者の体調に応じてこまめに対処している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 車椅子がすれ違える広さの廊下や、要所要所に手すりを設置して、安全に過ごして頂いている。また、エレベータを使用する事により、一階と二階への行き来が自由に行えている。	※	事故が無いよう、特に一階と二階への行き来の場合は、職員がついて行くようにしている。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 利用者一人ひとりの状態を把握して、個々に合った援助を心がけている。出来る事を制約しない様、注意している。		
87		○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 裏庭に畑があり、作物や花を植え、草引きや水やりをして頂いたり、散歩や歩行練習など、個々が楽しんで頂ける様、努めている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	利用者一人ひとりの会話や状況、行動で把握したり、家族から聞いたりして意向に添える様、心がけている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	ゆったりと過ごしたいという思いは常にあり、心がけているが、利用者のレベルの差が激しく、要介助の方の介護で職員がバタバタしてしまい、そういった時間をほとんど作れていないのが現状である。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	身の回りの事ができる方に関しては、思い思いに過ごして頂けている。要介助の方は、なるべく本人の体調・状況に合わせた援助を心がけているが、トイレ時などは時間毎に誘導する様にしている為、意に添わない事もあると思う。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	利用者のその時の状態により異なるが、職員の声掛けや援助に喜ばれたり、物事に対して積極的に取り組んで頂いている姿が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	家族が連れて行って下さる方もいて、その時は本人が行きたい所に行っている様である。職員の勤務状態により、職員が決めた日に外出や散歩をしている状態であり、個々の要望に応える事は困難である。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	健康診断を実施したり、主治医が月二回往診し、必要に応じて病院受診をしている為、医療面や安全面に対しての不安は少ないと思うが、自身の老いと、先行きに関しては不安がある様である。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	状況と要望に応じた支援を可能な限り行うように努めているが、全ての利用者がそれに満足しているかは分からない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	家族の面会時に話をする様心がけている為、信頼関係を深められる様に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	利用者の家族や知人等の面会以外の訪問は、会議や行事等の時に来て頂いている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の行事に声を掛けて貰って参加させて頂いたり、散歩時等の日々の挨拶等により、少しずつではあるが理解して頂いている。
98	職員は、活き活きと働けている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員一人ひとりが意見や思いを言える環境にあり、職員間の人間関係は良好である。が、常に余裕がない職場である為、職員のストレスや疲労度は増している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者が望むサービスに職員は耳を傾けており、出来ない事は理由を説明した上で納得して頂いている。一人ひとりの要望に全て応える事は困難であるが、可能な限り対応出来る様、努めている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時に話す会話から、ほとんどの家族の方は満足して頂いているように思われるが、面会の頻度が少ない家族は、満足されているか分からない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者が日々、安心・安楽・満足に暮らして頂ける様、家族と十分に連携を取りながら、可能な限り柔軟に対応できるようにしていきたい。●地域への行事参加、同系列施設への行事参加。●外出・・・利用者の要望を取り入れながら、行き先を考えている。●裏庭にある畑にて、職員と一緒に作物を育て、収穫して頂く。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ひめ椿

(ユニット名) も み じ

記入者(管理者)

氏 名 山 口 聡 美

評価完了日 平成 20 年 11 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) グループ内での理念を掲げており、それに沿った介護を行い、「家」という意識を常に持っている。	※	今までの理念とは別にプラス出来るものを掲げていきたい。
			(外部評価) 開設当初に職員全員が原案を出し合い、管理者がまとめてホーム独自の理念を作成している。その後、地域密着型サービスの役割の大切さを理念の中に取り入れ、現在の理念が完成した。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々の話し合いをもとに、認知症の緩和に努力し、落ち着ける場、機能低下をしない様、無理なく過ごせる様に実践している。		
			(外部評価) ユニットごとのミーティング時に理念を全員で復唱し、認識をさらに深めて共有し合い、実践に活かすよう取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族の方には、面会に来られた時に、日々の暮らしぶりを話したり、2ヶ月に一度お便りを発行して、状況を知らせている。	※	家族方同士の話し合いの場が持っていないので、年に一度は行いたいと思っている。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近隣への挨拶は、積極的に行い、会った時には会話などを通して行事などの話をするように心がけている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の夏祭りや秋祭りには参加している。	※	なかなか積極的に交流を図りたくとも人力的な問題があり、難しい。
			(外部評価) 夏祭り、地方祭などの地域行事に参加したり、ホームでのバザーなどの行事に参加してもらったり、高校生のボランティアを受け入れるなど、地域との交流を深めている。自治会には入会しておらず、地域の情報等を十分得られているとは言えない。	※	自治会に入会し、地域の一員として役割を果たすとともに、情報を得ながら活動の輪をさらに広げていくことを期待したい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 取り組めていない。	※	現実的にグループホーム内での事で手一杯である。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価を受ける事の重要性は良く理解しており、改善していく様努めている。		
			(外部評価) 今回の自己評価は職員全員が協力し、評価の作成過程で改善点に着目し、実践に向けて話し合っている。自己評価の評価項目のねらいについて、全職員が十分理解しているとまでは言えない。前回の外部評価では地域密着型サービスの理解をさらに深めることが課題となったが、改善に取り組んでいる。	※	全職員で項目の理解を深めるよう学び合い、評価のねらいを理解した上で取り組むことを期待したい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議を行い、意見交換をしている。		
			(外部評価) 2か月に1回、利用者代表、家族代表、地域代表者、市担当者などの出席を得て開催している。ホームへの要望・質問事項等について話し合い、またホームからの行事報告、災害対策への協力依頼などを行っている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議以外では、連携する機会は作れていない。		
			(外部評価) ホームから市担当者に対しての情報提供や話し合いの機会が多いとは言えず、連携が十分できているとは言えない。	※	サービス面で直面している状況や、今後の課題などについて共有し合う機会をホームから積極的にもつようにし、連携しながらサービスの向上につなげていくことが望まれる。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度自体は知っているが、制度の活用・説明は十分出来る体制ではない。	※	職員が制度の内容を十分学習が出来る場が欲しい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待はあってはならないことは職員も理解しており、そのような事を見逃す事のないよう、努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者の方や家族の方に、十分理解できるように説明をし、納得して頂くように心がけている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情受付の設置を行っている。	※	苦情など、直接言ってこられた場合、常に対応できる様、説明するようにしている。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 急を要する場合には、電話連絡にて対応し、定期的に便りを出して金銭の使い方など説明を行っている。		
			(外部評価) ホーム便りを隔月で発行し、ユニットごとの行事報告等をしている。また、家族の来訪時には生活の様子や健康状態を伝え、領収書をそえて金銭出納簿の確認を得ている。必要時には電話でも重要事項を伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情・不満などに対して、職員との話し合いを行っている。	※	家族会を予定しており、家族の方の意見・希望を伺い、今後に反映していきたい。
			(外部評価) 家族は、来訪時には直接職員に要望事項、質問事項などを伝えてくれ、職員がていねいに対応している。今年12月には家族会を発足させる計画である。重要事項説明書等にホーム内外の苦情相談窓口が具体的に明記されていない。	※	重要事項説明書等にホーム内外の苦情相談窓口を分かりやすく明記し、家族にも説明しておくことが望まれる。

30

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 研修会などに参加し、同業者との交流する機会を持つようにしている。 (外部評価) 法人内事業所間で、職員同士が訪問し合って交流や情報交換を行い、相互のサービスの質の向上に活かしている。法人外の同業者との交流機会はあまりない。	※	法人外の同業者とも連携を取り、研鑽を深めてサービスの向上に役立てる取り組みが求められる。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) スタッフ会や日常の会話を通して意見の交換をし、ストレスの軽減に努めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員個々の事を把握し、向上心を持って働ける様、努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 不安を解消できるようにその都度傾聴し、じっくり待つ事を心がけている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面会時を通じて要望に耳を傾け話し合い、信頼関係が築ける様に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時、出来る事のサービスには対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族の方には面会に来て頂ける様お願いし、これまでの生活を維持できるように対応している。 (外部評価) 入居希望者の家庭を訪問し、本人の生活の様子や健康状態などを聞き取り、ホーム内の生活に馴染めるかどうかを十分に検討し、本人と家族が納得の上で入居をしてもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 生活をしていく中で、利用者の意見を尊重し、協力し合いながら過ごせる様にしている。 (外部評価) 好みや機能に応じて食後の手伝い、畑仕事、洗濯物たたみなどを共に行っている。また、レクリエーションのリード役なども務めてもらい、職員と共に過ごしながら支え合う関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会に来られた時、利用者の話はもちろん、雑談を通してお互いの関係をより良くするように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者が家族との関係を思わしくないように話す時には耳を傾ける事に徹し、不必要な発言を避け、より良い関係になる様努める。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入所前での関係の理解は少ないが、電話・はがきでの対応をしている。	※	利用者の意向を汲み、継続していきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士が楽しめる様、外出したりしてお互いが理解できるよう場を提供している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 難しい事とは思いますが、他の施設へ行かれた場合等不定期ではあるが、面会に行ったりして関係を大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者一人ひとりの思い・希望を言って頂き、偏った応じ方をしないようにする。 (外部評価) 日々の生活の中で、本人の好みや希望の把握に努めており、家族とも相談しながら、一人ひとりの生活に合わせた支援に努めている。	※	要望には出来るだけ応えたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前の生活歴やサマリーによる記録に目を通し、把握する。	※	日常生活の中で新たに分かった事など記録しておき、職員に分かるように連絡する。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一日の生活状況を時間毎に記録しているが、見落としもある。	※	一人ひとりの様子を観察し、把握できるよう努めたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族の面会時等に利用者・職員を交えて要望をお聞きし、作成している。 (外部評価) 新しい入居者に対しては利用者の生活の様子や健康状態を話し合い、毎日の詳細な生活記録や申し送りノートなどを参考にして、短期間（1か月）の計画を作成し、日ごと検討を加えて完成している。介護計画は家族に説明し、了承を得ている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的には困難な場合もあるが、なるべく見直しや、現状に即した新たな計画を作成するよう、努めている。 (外部評価) 3か月ごとの見直しを検討し、本人及び家族の了承を得ている。状況変化に応じては家族等と相談しながら臨機応変に見直し、本人及び家族に説明している。	※	定期的に見直しができる様、努めていきたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 一人ひとりの日々の様子・会話など時間と共に細かく記録し、職員が情報を共有し、介護計画の見直しに活かせる様にしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 利用者・家族の要望に対して、緊急性を要することには支援している。 (外部評価) 各人の希望にそって散歩、入浴支援、理美容支援などを行っている。また、家族の都合に合わせて、家族に代わって通院支援などを行っている。地域行事やホーム行事等には各人の機能や好みに合わせて参加してもらえるよう、柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議や消防訓練にも協力して貰っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用していない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 利用していない。		

36

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度の状態の家族の方と話し合いを持ち、医師等とも相談。今後のこともどうするかを検討している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者のダメージを防ぐ為にも家族・ケア関係者との情報交換を行うと共に、共有できるよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりの言葉かけや対応に気をつけ、個人情報の取り扱いにも留意し、プライバシーを侵害しないようにしている。 (外部評価) プライバシー尊重に関しては十分心得ており、利用者を人生の先輩として、言葉かけや対応には配慮している。職員全員が個人情報保護の理解に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の主張を尊重しつつ、一人ひとりの対応の仕方にも気をつけ、納得して行えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個人のペースに合わせ、無理なく過ごして貰っているが、時間的な制約のため、こちらの都合に合わせて貰っている。 (外部評価) 入浴、散歩、畑仕事などは、その日の一人ひとりの気持ちや体調に配慮しながら、柔軟に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の希望がある場合、家族の協力をお願いするが、月1回、理美容師さんに来所して貰っている。	※	家族の協力があれば、本人の意向に添うようにしている。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 個人の能力に応じて下善・食器の片付け・調理の準備など手伝って貰っている。 (外部評価) 機能に応じて食後の後片付けを手伝ってもらい、介助の必要な利用者には傍らに座って、語りかけながら支援している。ホームの菜園で採れた野菜を食材に使うこともあり、食事が楽しいひと時となるよう配慮している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 家族が持参したり、外出の際に買い物をして召し上がって頂いている。	※	現在、喫煙する方がいない為良いが、火の始末等があるので、今後喫煙する方がいれば考慮しなければと思う。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々排泄パターンに応じ、誘導をしたりして把握し、状態により紙パンツ・オムツの使用をしている。	※	日中は自前の下着使用、夜はオムツを使用している方もいる。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴する時間は身体に負担が掛からない程度の時間にしてもらい、一般浴・機械浴と分け、週三回の入浴対応にしている。 (外部評価) 基本的には3日に1回の入浴支援を行っている。入浴を嫌がる利用者には言葉かけや対応に工夫しながら、くつろげる入浴ができるよう配慮している。機械浴の対応も可能となっている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 温度調節や換気に注意し、安眠しやすい環境を整えている。また、お昼寝を取り入れるなどして個々の体調に合わせている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 利用者の希望を取り入れるようにし、散歩や買い物など、時間が許す限りしているが、外出など行事などは計画・実施している。 (外部評価) 一人ひとりの好みや性格に応じて食後の片づけ、洗濯物たたみ、掃除、畑仕事など、出番を多く提供し、居室にこもることのないよう、日々の生活の中でやりがいと喜びを感じとってもらえるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 管理できる人にはして貰っている。そうでない方にはホームが管理しているが、買い物時の支払い等は本人自身にして貰い、楽しんで貰っている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 毎日行う事は無理だが、天候や本人の希望に応じるようにしている。無理な時は、ホーム内の庭に出て貰っている。 (外部評価) 外出計画表を作成し、極力散歩に出かける機会を多く設けている。また、花見や近くの寺院、公園などにも出かけている。	※	本人が行きたいところがあれば、叶うように努めていきたい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個人的には無理であるが、全員で外出する機会を設けている。	※	利用者の行きたいところなども参考にし、行き先を考えていきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の自由に連絡を取って貰っている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 時間的な制限は無く、訪問された時にはゆっくり過ごして頂けるように配慮している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の弊害を認識しており、拘束しない介護を目指し取り組んでいる。	※	危険を伴う場合のみ拘束しなければならない時、家族に了解して貰って行っている。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 曜日と時間を決め、鍵を掛けないでいたが、事故が起きた為、門扉を開放し、施錠する事にした。 (外部評価) 玄関の出入りは職員の目が届かず、利用者が万一外出した場合には安全面で不安があるため、日中も施錠している。家族には状況を説明して理解を求めている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中、夜間共に利用者の所在確認を怠らないように努め、夜間の巡視・物音・転倒など無いように努める。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 家具などの配置・洗剤・薬の置き場所に気をつける。	※	ハサミなど使用する時には、職員と一緒に行うようにしている。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 主治医の指示に従い、間違えないようにしている。薬の変更があった場合など連絡・確認を各職員に申し送る。	※	薬の服用は、必ず手渡しして服用している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急処置のマニュアルを置いてあるが、全職員に対処できるという体制ではない。	※	全職員が対応できる様、職員同士のミーティング及び勉強会を通して行っていきたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署に協力して貰い、消防訓練を定期的に行っているが、地域の方たちへの協力を推進会議において働きかけたい。 (外部評価) 年2回の災害訓練を実施しており、内1回は消防署の指導を受けている。職員連絡簿は事務室に備えている。運営推進会議を通じて地域の方に災害時の協力依頼を行っているが、一緒に訓練をするまでには至っていない。災害時のマニュアルは完備されていない。	※	分かりやすくより実践に即したマニュアルと職員連絡簿を作成し、それらを活かした訓練を実施することが求められる。訓練時には地域の方にも参加してもらうなど、さらに協力体制を深める取り組みも期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 家族が来所された時、日頃の利用者の様子・状態を説明しているが、来られない方には電話にて説明しているが、十分ではない。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員が常日頃、利用者の状態観察して記録しておき、異変に気づいたときには申し送り、連絡ノートで対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師の処方に従い、用法・用量については理解しているが、副作用についての理解は全て把握できているとは言えない。	※	薬の副作用や症状の変化についても全職員が理解できる様、努めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取量・排便パターンを把握し、声掛けなどをする。便秘時には排便を促すお茶を摂取して頂いたり、腹部マッサージ等を行っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりに応じた口腔ケアを行い、声掛けにて口腔ケアをして貰い、介助が必要な方には共に行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分量は一日の合計がチェックできるように記録にて行っており、栄養士の立てた献立により調理している。水分量は一人1.5ℓ～2.0ℓが目安。 (外部評価) 食事及び水分摂取量を詳細に記録し、法人の栄養士が作成した献立表をもとに調理を行い、栄養管理に努めている。食事時には声をかけながら、適切な栄養バランスや摂取量を確保できるよう支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に関するマニュアルを作成し、全職員が読むように努めている。また、「一介護・一手洗い」とうがいの励行に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材・調理器具・食器などの洗浄を行い、まな板・包丁の消毒も行っている。食材の傷みがないかにも注意している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りの清掃・花の鉢植えを行い、長いすを置くなど配慮している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関・食堂には庭に咲いた花を生け、壁面には季節の壁画を飾っている。居室においては日当たりが良いため、カーテンで調整・西日の為、立てずで対応している。 (外部評価) 居間、食堂、廊下は広くて明るく、ソファを備えてゆったりと寛げるよう工夫している。空調は適切に管理されており、浴室、トイレ、台所も清潔である。テレビの音量も適切であり、利用者は和やかに過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ホールにはテレビ・ソファを設置しており、自由に談話できるようにして貰っている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人と家族の希望により、馴染みのある家具や写真を飾り、安心して生活できる様、ベッドの配置も考慮している。 (外部評価) 居室は明るく、馴染みの筆筒、テレビなどを備え、思い出の写真なども飾り、馴染みの物品を持ち込み、自分の部屋らしく寛いで過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 起床時・清掃時には窓を開けて換気を行い、冷暖房機を使用する時など、まめに温度調節を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下・階段・トイレ・浴室には手すりを設置している。エレベーターを使用して一階と二階の行き来が自由に行える。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりに自立出来るように声掛けし、ゆっくりと行動を共にし、時ニアは気長に待ち、本人の訴えも受け入れて支援している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭に畑があり、草引きや水遣りをしたりして畑仕事を楽しんで頂いている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない 意思疎通の出来る方には、要望を言って頂いたり、日頃の暮らし方を家族から聞いたりして把握している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 ② 数日に1回程度ある 評価) ③ たまにある ④ ほとんどない 時間がある限り利用者に話しかけたり、昔話を聞いたりして過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない 外出や行事以外は個々の自由を尊重している。ただし入浴の時間等を一人ひとりのペースに合わせるのは難しい。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない ほとんどの利用者が必ず「ありがとう」と喜んでくれたり笑顔が見られたりする。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない 時間的な余裕が無く、家族の協力を得るのもなかなか難しく、一人ひとりの要望に応えられていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない 健康診断の実施。月に2回のペースでの往診。必要に応じて病院受診をしたりしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない 全ての要望には応じられていないが、出来る限りの要望には支障の無い限り応じている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	① ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない ほとんどの家族とは面会に来られた時に話すように心がけているが、面会に来られない家族とのかんけいは、出来ているかどうか不安である。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) ③ たまに ④ ほとんどない 家族の方や、知人の来所はあるが、地域の方の来所は会議や行事の時に来て頂いている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	近隣の方が散歩している途中に声を掛けて下さったり、夏祭り・文化祭などの行事に参加して頂いている。
98	職員は、活き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	お互いにコミュニケーションを図り、トラブルなど発生した時など相談し、協力しながら解決していると思う。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの要望全てに応えることは出来ないが、健康衛生面・食事などについては気をつけている。毎日の外出を望む方がいるが、一人に付きっきりとはいかない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	グループホームに預けていれば、全てして貰えるという考え方の人もいるが、なかには理解し、協力もして下さる方もいる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・グループホーム内に畑があり、季節の花や野菜を植え、利用者と草引き・水やりなど一緒にすることができる。 ・どこかに外出して食事を摂るだけでなく、グループホーム内での庭にて食事をしたりしている(鉄板焼き・いも炊き)。 ・グループホーム独自の外出・行事の他、地域の行事参加・同系列施設への行事参加をしている。 ・緊急時、看護師への連絡・利用者の状態を見て貰える体制を取っている。